

## **三重県建設労働組合の取組**

### **平成21年度の取組**

特定健診・特定保健指導を通して健康診断を受ける人の増加を図った。毎月の機関紙で受診日程を周知したほか、各支部では前年受診者にも個別連絡をとるなどしたことにより、組合で実施する集団健診は前年並みの受診者を確保した。人間ドックや脳ドックに対する関心も年々高まってきており、健康に対する意識を高める上で、一定の成果をあげることができた。

歩数の増加に関しては、熊野古道でウォーキング大会を開催し260人が参加した。また、組合主催の婦人科健診受診者に、ウォーキング啓発のパンフレットを配付するなど、歩くことの楽しさへの理解を求めた。

### **平成22年度に取り組む数値目標**

- (7) 健康診断を受ける人の増加
- (41) 日常生活における歩数の増加
- (42) 日常生活における歩数の増加(70歳以上)

### **目標達成に向けた取組の内容**

「健康増進」への関心を高めるため、食事や運動など身近な問題から機関紙などで取りあげ、自身の健康管理の推進と健康診断受診者の増加を図る。

ウォーキング大会や運動会への積極的な参加を奨励し、歩数の増加、身体を動かす習慣づくりを推進する。特に70歳以上へのウォーキングの奨励を図る。